

みやぎGPNニュース



今回の
内容

- 情報提供 「システム思考」
- 活動報告：①事業所見学会 ②石巻環境フェア2022
- 特集 新循環：ミュージックドネーション

2022.12

Vol.23

●情報提供「システム思考」

皆さんの事業が一時的な成功ではなく、永続的に豊かであり続けるためには、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」という順序は非常に大切であると理解しておくはけません。その為にはサステナビリティというその時代に与えられた地球規模の課題を解決し続けていかなければならない四方よしがとても重要となってきます。

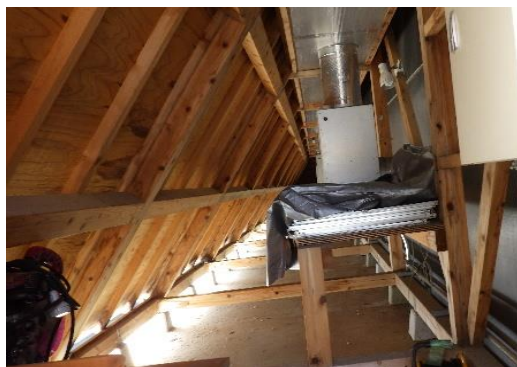


システム思考

「システム思考」とは、物事の全体像を捉え、さまざまな要素とのつながりを把握したうえで、最も効果的な解決法へ向かうアプローチのことをいいます。目に見えている問題だけにとらわれるのではなく、複雑に絡み合う多種多様な事柄を考慮し、物事を本質的な解決に導くための思考法です。ビジネスを取り巻く環境がより複雑に、そして不明瞭になっている今こそ、最も影響を及ぼしそうな要素を見極め、構造的に考える力が求められています。

目に見えている部分を「出来事」とすると、水面下には「行動パターン」「構造」「メンタルモデル」といった要素が隠れています。わかっている「出来事」を基に、その事象に「パターン」があるかを確認し、それを引き起こす「構造」を突き止め、その構造を生み出している関係者（メンタルモデル）を洗い出す。このアプローチで、多角的に問題を見つめることができます。

●事業所見学会：①登米町森林組合 Jプロジェクト&太陽熱木材乾燥庫Tosms



今年度の事業所見学会は、令和4年11月2日、COVID19の感染第8波の影響が懸念されたため来年2月のセミナーに向け収録という形で実施しました。まず初めにお邪魔したのは登米町森林組合です。



まず最初に、NHK朝の連続テレビ小説「おかえりモネ」の制作にあたり林業に関する専門的な助言や事実関係の確認、資料の提供など、ドラマという物語の中に、林業の要素を数多く組み込み「林業考証」として担当された、登米町森林組合竹中参事より撮影秘話を盛り込んだ林業について、現状と課題についてお話がありました。登米市森林管理協議会による登米材の流通が森林林業に明るい兆しを与えてくれていることも新たな発見でした。場所を移動して行った施設見学は、カーボンニュートラルという時代にあった太陽熱木材乾燥庫にお邪魔し太陽熱を効率よく利用している施設に感銘を受けました。

●事業所見学会：②榊田建築設計吉田部長によるCLTの現状と課題&林業技術総合センター施設の見学

CLTパネルを三角形に組み合わせた梁



★CLTとはCross Laminated Timber (JASでは直交集成板)の略称で、ひき板(ラミナ)を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。

厚みのある大きな板であり、木材特有の断熱性と壁式構造の特性をいかして戸建て住宅の他、中層建築物の共同住宅、高齢者福祉施設の居住部分、ホテルの客室などに用いられています。しかし宮城県内でパネルが製作できる工場は一カ所しかなく、加工は県外の工場へ持ち込まなければならないというのが現状で木材利用の救世主ともいえるCLT材の普及にはまだまだ時間がかかりそうです。

●石巻環境フェア2022:令和4年11月13日 マルホンまきあーとテラス石巻



石巻市主催の環境フェアが会場を「マルホンまきあーとテラス」に変え3年ぶりに開催されました。みやぎグリーン購入ネットワークもブースをお借りして、地球規模の課題に関するポスター展示を行い「環境〇×クイズ」を実施し30組の親子がクイズに挑戦しました。海洋プラスチックやエネルギー問題、環境保護や動物愛護など様々な団体が23のブースを構え、ワークショップやポスターセッションの他に、屋外ではエコカーの展示も行われ多くの来場者が訪れ環境について考える一日となりました。



●新循環:ミュージックドネーション「Strings Save The World」

令和4年3月から始まったNPO法人環境会議所東北の取組が全国的に口コミで広がり今、ちょっと話題となっています。廃棄されている使用済みギター&ベース弦に含まれている非鉄金属(ステンレス・リン・すず・ニッケル・銅など)を回収・循環させる取組です。

■課題

産業革命以降、発展と共に原料を地下資源に依存してきた製造業は、環境問題に大きな影響を与え続けている。資源循環については自動車をはじめ小型家電等、個別に細かく法律が作られている。しかし、音楽系廃棄物については静脈が整備されていないためそのほとんどが廃棄されており分別回収に至っていない。

■課題解決の考え方(どういった要素か?)

- ①個別回収では、スケールメリットが期待できないためシステム構築に至らない。
- ②ネット通販等の利用が増え音楽に本来期待できる交流の機会が失われている。
- ③小規模な個人事業所が多くを占める音楽スタジオやライブハウスには、CSR等の社会貢献の必要性について情報が届きにくい。

■提案の全体的な方向性

- ①音楽家が弦等の調達、練習や発表の場として利用する店舗及び事業所は、プレイヤー等が交流する場でもあり、このプロジェクトの回収拠点として望ましい環境である。
- ②プレイヤーたちは潜在的に廃棄する際、行き場のない音楽系廃棄物の処理に対する受け皿を求めている。

■具体的提案

- ①破損・交換等により廃棄される音楽系廃棄物を、回収拠点(ライブハウス・楽器店・コンサート会場等)を設け回収し一定の期間事務局に保管、換金し以下に掲げる活動を支援する。

②支援する活動

子供たちを支援する活動(途上国を含む教育に関するもの)・植林活動



■情報発信(毎週更新) えしかるちゃんと一緒に考えよう!

世界の平和を願う国連が、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) 社会実現を誓ったSDGs。

SDGsについて理解を深め、あなたも社会を変える! 未来を変える! チェンジメーカーのひとりとして一緒に行動していきましょう。

みやぎGPN公認キャラクター! えしかるちゃん

■発行・編集 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈三丁目10-6 TEL.022-218-5451 FAX.022-375-7797

Email: mi-green@miyagigpn.net ホームページ: <https://www.miyagigpn.net/>



👉こちらからどうぞ



■SDGs出前講座開催中 SDGs NO.12実践による企業の具体的アクション掘り起こしを一緒に考えます。

■二酸化炭素排出量算定サービス 現状を把握し、省エネに向けた取組の推進と、クレジット取引によるカーボンニュートラル達成への道筋を見つけましょう。

・ご希望の方は、みやぎグリーン購入ネットワーク事務局までご連絡ください。

